

- ・留学期間：4年次 夏期
- ・所属学科：総合社会学科

TRU について

カナダのカムループスにある TRU(トンブソンリバーズ大学)に3週間の短期留学に参加しました。カムループス(英: Kamloops)は、ブリティッシュコロンビア州の南部、トンブソン・ニコラ地域にある都市です。人口は2021年時点で、約9万7902人います。地勢的にはトンブソン川(Thompson River)とカムループス湖(Kamloops Lake)の合流地点にあります。内陸性の気候で乾燥しており、年間通して晴れる日が多いです。夏季の日中はかなり暑くなり、7月の平均最高気温は28.9℃とカナダの中でも最も高い地域となるが、朝晩は涼しく、湿度も低いので過ごしやすいです。

コミュニケーションの難しさ

トンブソンリバーズ大学は、日本はもちろん、インドやバングラデシュなど色々な国や地域から留学生が来ているのでさまざまな人に出会うことができました。授業の一環で留学生やトンブソンリバーズ大学で働いている人にインタビューをする機会がありました。

声をかけると笑顔でインタビューに応じてくれて心があたたかくなりました。トンブソンリバーズ大学だけでなく、カムループス、カナダのことをもっと知りたくなり、より深く知る良い機会になりました。また、日本に旅行に行きたくて食事や観光を楽しみたいと答えていた人もいて、もっと日本について知って欲しいと思いました。

インタビューまじりや留学、違う国の人のお家でホームステイするのは楽しみの反面、もちろん不安もありました。3週間カムループスで暮らして痛感したのが、自分の会話力の無さでした。まずは聞き取ることに必死でなかなか返答することができず、会話やコミュニケーションを取ることが出来ませんでした。当たり前のことですが、一人一人話し方やジェスチャー、会話の速さやテンポも違い、リスニング用のCDの様に話してくれるわけではありません。聞き取りやすい人、聞き取りにくい人がいました。また、聞き取れたとしてもなかなか自分の意見を言えません。自分の考えをどう話そうかと、まとめている間に会話はどんどん進んでいってしまうからです。すごく苦労しましたが、翻訳機を使ったり持参した辞書を使い毎日復習や予習をして、少しは上達したのではないかと思います。今は携帯電話の翻訳アプリがあるので、英語のレベルに不安がある人も大丈夫だと思いました。

異文化を感じて

私は日本でもひとり暮らしをしたことがなかったので、ホームステイをすることにも不安がありました。きちんとご飯をつくってくれるのか、生活リズムが合うのかが不安でした。ホームステイにする場合の注意点は理想を高く持ちすぎないことなのではないかと感じました。カナダは移民が多い国なので、純粋なカナダ人を探すのは結構難しいものです。私のホストファミリーもそうだったのですが、自分の父母くらいの年齢の方が受け入

れている所がたくさんあります。新しいホストファミリーとの出会いはとてもかけがえのないものとなりました。彼らは休みになるとよく様々な場所に連れて行ってくれたり、友人もたくさん紹介してくれました。人間なので合う合わないがあると思いますが、カナダは朝にシャワーを入るのが当たり前であったり、生活のリズムが異なることを身をもって知ることができたのでとても良い経験になりました。

また、カムループスはカナダの中でも自然が多いので、山火事で視界が曇り焦げ臭い匂いに悩まされたこともありましたが、空をささぎる高いビルや建物がないので広い空の下で、のびのびとリラックスして過ごすことができました。

ホームステイ先からトンプソンリバーズ大学に行くためにバスの定期切符をもらうことができます。なので、カムループス最大のアバディーンモールというショッピングモールでお土産を見たり、ショッピングを楽しむことができます。リバーサイドパークというバスの乗り換え地点から徒歩 15 分にある公園はみんなの憩いの場でした。透明度の高い川のそばにある公園なのでベンチで座っているだけで、学校で勉強したリフレッシュになりました。

その近くにはスーパーや薬局、飲食店もあり、日本にはない街並みやお客さんと店員さんとの出会いがあります。

お気に入りのお店

Tim Hortons(ティムホートンズ)というドーナツ屋さんがトンプソンリバーズ大学の校内とリバーサイドパークの近くにあり、よくお昼休みに買っていました。街や校内を歩いていると、Tim Hortons のコーヒーを片手に歩いている人と必ず出会えるというくらい、カナダ民には欠かせないコーヒーチェーンです。Tim Hortons は、カナダ国内に、約 3,000 店舗を構えています。主なメニューはコーヒー、カフェラテなどのカフェメニューと、ドーナツや菓子パンなどのベーカリーメニュー、ホットサンドやハンバーガーなどのサンドウィッチメニューがありました。カナダ国内では、国内ナンバーワンのファストフード店だそうです。中でも人気はカフェメニューで、その人気の理由は何といてもお手軽な価格です。コーヒーは 4 種類があり、S は約 125 円、1 番大きい XL でも約 170 円と何とも学生に優しい価格です。次いで人気なのがドーナツで、価格は全て同じ値段で 1 つ約 80 円、6 個セットで約 440 円、12 個セットで約 720 円と、こちらもコーヒーに負けず驚きの安さです。

ホストファミリーとの交流

ホームステイ先の人たちとは週末に自宅にある電動キックボードに乗って家の周りを探検しました。電動のキックボードなので、力を入れずにスイスイ移動ができてとても快適でした。家の近くに A&W というハンバーガーのファストフード店があったので、寄りました。また土曜日に行われる、月に 1 回のリバーサイドパークでの音楽イベントでは、ピザをデリバリーして、ピザを食べながら歌を聞くことができ、綺麗な夕日を見て癒されることができたので、良い週末を過ごせました。ホストファミリーの友達の犬も連れて行って喜んでいたのでとても印象に残っています。

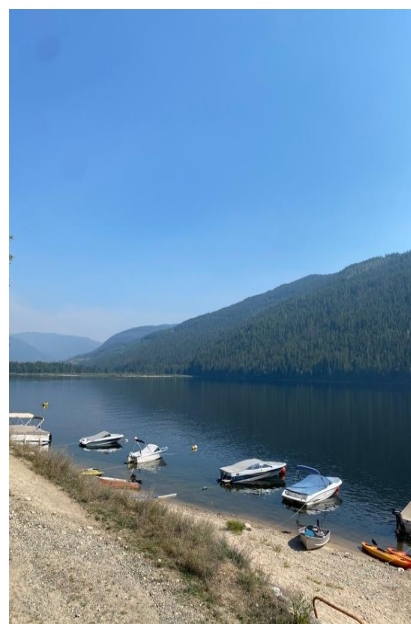
食事の面では、私のホストファミリーはベジタリアンと聞いていたのですが、毎日違う国の料理を作ってくれました。ナチョスやカレーうどんや、ピザなどです。同じ料理でも日本で食べるのと味が違い、ポリューミーで美味しかったです。

カヤック体験

私が 1 番思い出に残っているのは、ノースバリエール湖でのカヤック体験です。広い湖の青と森のみどり色がとても映えていて、神秘的な光景でした。ノースバリエール湖付近は、有名なキャンプスポットらしく、たくさんのキャンピングカーがとまっており、愛犬や家族とキャンプを楽しんでいる人たちを見かけました。カヤックは誰も転覆することなく、楽しむことができました。終わってから午後はホットドッグを食べたり、カナダの伝統的なデザートである溶けかけたマシュマロをチョコレートと挟んで、2 枚のクラッカーで挟んだ「スモア」というお菓子を食べたり、水鉄砲やバスケットボールをしたりと体を動かして、思う存分楽しむことができました。実際に体を動かすと、同じ短期留学のプログラムに参加している他の大学の人たちと話すようになって、親しくなりました。関東圏から参加している大学生や、中学生また韓国や台湾から来ている人たちもいました。



最初の 1 週間でクラスに分けられ、英語のレベルに合わせた授業なので、失敗を恐れずどんどん発表をしたり、発言をすることができます。また、失敗をしても誰も責めない空気感があるので、とてもリラックスして授業を受けることができました。ペアワークやグループでみんなで話し合ったりすることがメインなので、ただ先生の話聞くだけの退屈な時間ではなく、コミュニケーションを取り会話をすることが、とても楽しく毎日があっという間に過ぎていきました。1 番印象に残っている授業は、世界地図を 2 つのグループに分かれて完成されるというもの。世界地図をじっくり見る機会はないので、カナダの州の位置など細かい部分を知ることができました。また、グループの人たちと話し合って相談しながら作業するのでみんなが仲良くなりました。



この短期留学を通して、他の学科の子どもと出会うことができ、違う大学の子どもと交流する機会がたくさんあり、自分の知らない世界にたくさん出会うことができました。飛行機に乗るまでに、事前研修もきちんとあり、安心することができました。また、トンプソンリバース大学にも日本語の話せるスタッフの方がいたので、困ったことがあっても解決できます。もし、短期留学をすることを迷っているのなら、一歩踏み出してチャレンジすることをおすすめします。一生の思い出になること間違いなしです。